

地方創生関係交付金事業評価シート

	担当課名	建設産業課	事業No.	1
事業名	もうかる農林水産業の実現に向けた「とくしまブランド」戦略			
目的	農林水産物の活用ともうかる産地づくりのため、県・市町村・産学金で「徳島6次産業化推進連携協議会」を構成し、オール徳島体制での6次化商品の開発や販路開拓に取り組む。			
実施内容	協議会において次の事業を実施。【地方創生推進交付金】 1)産地商談会の開催による商談等の機会の創出 2)展示商談会への出展の支援 3)商品開発及び商品改良の支援			
重要業績評価指標(KPI)	指標	6次産業化による商品化数		
	目標	15件(2020~2024) ← 10件(2015~2018)		
	実績	0件(2020)		
達成度	A:達成 B:概ね達成 C:未達成			

【事業費と財源内訳】

(単位:円)

2020年度	計画額	実績額	交付金充当額	備考
事業費	1,000,000	750,000	375,000	事業費の1/2

【2020年度の取組と課題】

協議会の構成員	農林水産関係(徳島県農協中央会ほか7団体) 商工・経済関係(徳島県商工会議所ほか4団体) 金融関係(徳島県信用農業協同組合連合会ほか3団体) 学術・教育関係(徳島大学) 行政関係(徳島県ほか11団体)
1)にんじんパウダー加工場所の追加	

【今後の取組】

<p>藍住町にんじん需要拡大協議会が独自でにんじんの加工について協議を重ねている。今後の取組としては、六次化に取り組むきっかけづくりができるように、町も補助金制度を設けるなど支援の方法について検討する。</p> <p>徳島県6次産業化戦略に基づき、新商品開発、販路開拓、人材育成、農林漁業者と2次・3次事業者との交流を支援していく。</p>
--

※藍住町地方創生推進会議の意見

<p>○商品開発に向けた関係者の開発意欲の向上や、デジタル社会の進展を踏まえた商談や販売のオンライン化などを推進する必要があるのではないかと思います。</p> <p>○「藍」、「ニンジン」などを国内外にアピールするにあたっては、開発した商品やイベントなどと、「藍住」もしくは「徳島・藍住」とを結びつけて知っていただく「タグ付け(関連付け)」が重要であると思いますので、こういった視点についても考慮していただきたいと思います。</p> <p>○「6次産業化による商品化数」をKPIとして設定するのは成果を評価する指標として難がある。6次産業化の目的は農家の所得を向上させることが第一であり、決して、商品開発で終わりではないからです。そこがまさにスタートラインで、いかに農家の所得向上を果たしたかがKPIとして設定されるべきだと考えます。6次産業化の真の成功は極めて難しいとされ、商品化したとしても、その多くは徒労に終わると聞きます。商品化数だけを見て、目標を達成したから「A評価」としてしまえば、そこで満足してしまい、本当に大事なこの先につながらない恐れを心配します。</p>
